

# 日本高齢期運動連絡会ニュース

発行責任者 畑中 久明 発行所 日本高齢期運動連絡会  
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5 シャンポール中野 504 号  
TEL/fax03-3384-6654 E-Mail nihonkouren@nifty.com  
http://www.nihonkouren.jp

No.360  
発行 2023 年 9 月 25 日

## いよいよ1か月、学び・交流し・元気を出そう

全国のちからで日本高齢者大会 in 東京を成功させよう

○サブスローガン ストップ軍拡 かがやけ人権

○東京大会の意義・目的

- ①高齢者が若者など多世代と手を結び、憲法の平和的生存権を生かす社会への運動の連帯を大きく広げる大会
- ②日本高齢者人権宣言を学び、たたかいに活かす大会
- ③全国で地域に高齢期運動を広げ根付かせること目指す

3つの目的と意義をつかみ、全国からたくさんの方が集いましょう

## 1日目 11月12日(日) 大正大学

◆学習講座 12時開場 13時開会 \*前半:13時~14時30分 後半:15時~16時30分 ワケ印=●

講座	テーマ 講師/助言者	号館	階数	教室番号	席数
第1講座	日本を「戦争する国」にしているのか 渡辺治 一橋大学名誉教授 四谷姉妹(岸松江・青龍美和子 弁護士)	13号館	2階	1321	330 ●
第2講座	私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるのか-克服の道を考える 佐々木憲昭 日本共産党元衆議院議員		13時開始	1331	330 ●
第3講座	ジェンダー平等で未来を切りひらく 田中優子 法政大学名誉教授・前総長		15時開始		
第4講座	気候の危機をどう受け止めるか 江守 正多 東京大学教授	5号館	3階	533	63
第5講座	防災とまちづくり 福田 信章 災害協働サポート東京 事務局長				
第6講座	コロナ禍でみえた日本の医療の課題 増田 剛 全日本民主医療機関連合会会長		13時開始	4階	541
第7講座	日本の農業と自給率、食糧安保 長谷川 敏郎 農民運動全国連合会会長	15時開始	10号館	1042	60
第8講座	高齢者の就労と貧困問題-下流老人問題の現在と未来 藤田孝典 聖学院大学客員准教授	13時開始			
第9講座	いのちのとりで裁判と生存権 前田美津恵 全国生活と健康を守る会連合会副会長	15時開始			
第10講座	マイナンバーカードで、国民の管理? 稲葉一将 名古屋大学大学院法学研究科教授	13時開始			
第11講座	インボイスは生活にどう影響するか? 佐伯 和雅 税理士 税理士法人東京南部会計代表社員	15時開始			
第12講座	戦争する国づくりと教育 中嶋哲彦 名古屋大学名誉教授	13時開始	4階	1052	60
第13講座	原発とエネルギー問題 野口邦和 元日本大学准教授	15時開始			

## ◇学習講座のねらい◇

### 第1講座 日本を「戦争する国」にしているのか

ウクライナ戦争はなぜ起きたのか？戦争はどうなるか？アメリカ、EC、中国などはどうかわり、国際情勢はどうなるのか？政府は先制攻撃、敵基地攻撃まで可能にしようとしている。なぜ米中が対立するのか。台湾問題はどうか、アメリカの戦略は？アメリカの戦争に日本が集団的自衛権によって巻き込まれたらどうなるのか。戦争のことを知る高齢者は若者と連帯し、今こそ行動を起こそう。

### 第2講座 私たちの暮らしはなぜ破壊され続けるのか

労働者の賃金は下がり続け、物価高騰は激化し、少子化は進み、環境破壊は深刻化している。国際競争力は低下しているのに大企業の内部留保は500兆円を超えた。社会保障への支出は削減され、国民の負担は増やされる一方。どう変えられるか。

### 第3講座 ジェンダー平等で未来を切りひらく

日本政府は女性差別撤廃条約は批准したが、選択議定書は批准していない。ジェンダーギャップ指数は先進国最低レベル。女性が受けている差別の実態を知り、運動の方向を学ぶ。

### 第4講座 地球温暖化と気候変動

なぜ地球温暖化が進み、気候危機が深刻化しているのか。地球環境の破壊はどこまで進むのか、食い止めるためには何が必要か。私たちは何ができるのか。

### 第5講座 防災とまちづくり

災害についての基礎知識を学び、どう備えればいいのか。減災のまちづくりについて考える。

### 第6講座 日本の医療の課題

コロナが日本医療の課題を浮き彫りにした。また高齢者の2割負担、マイナカードと保険証の廃止の強行、病院ベッドと公衆衛生の削減など医療をめぐる状況は厳しさを増すばかり。私たちの命綱は一体どうなるのか。

### 第7講座 日本の農業と自給率、食糧安保

- ①日本の食料状況とその対応を学ぶ・日本の食糧自給率（外国との比較も含めて）
- ②農業を守る取り組み（生産者と消費者）について交流し意見交換する。

### 第8講座 高齢者の就労と貧困問題

多くの高齢者は年金収入だけでは足りない生活費を補填するために働いているが、その職種や労働環境は厳しいのが実態。高齢者の労災事故が増えているとの報道もされている。高齢者の就労をめぐる今日の実態と課題を学び、今後の要求運動につなげていく。

### 第9講座 いのちのとりで裁判と生存権

いのちのとりで裁判の現状と違憲訴訟にとりくんでいる当事者の報告から生存権を守るたまたかの意義を学ぶ。

### 第10講座 マイナンバーカードで、国民支配？

任意加入であるマイナンバーカードに無理やり国民皆保健の健康保険証を紐づけ、様々なミス、弊害が噴出している。何を狙い、このことがどんな問題を引き起こすかを学ぶ。

### 第11講座 インボイスは生活にどう影響するか？

インボイスの内容、国民生活への影響について学ぶ。

### 第12講座 戦争する国づくりと教育

戦前の日本は、学校教育を通じて、神懸かり的な国家観や忠君愛国の英雄的人物像を系統的に注入しました。今、ウクライナ戦争や北朝鮮の核兵器・ミサイル実験に直面して、戦前とは異なる内容と形態で国防意識と愛国心が再編集されつつあるのではないのでしょうか。今日の情勢のかなで戦争をしないために何が必要かを学び、考える。

### 第13講座 原発とエネルギー問題

ウクライナ戦争の今、一層危険性は明らかになっている。この時に原発の運転期間の延長を含む、原発への依存を強める方針へ岸田内閣は舵を切った。どう考え、どう対応すべきか？

1 日 目 11 月 12 日 ( 日 ) 大正大学

◆分科会

12時開場 13時～16時30分 (途中休憩時間あり)

オンライン●

分科会	テーマ 講師/助言者	号館	階数	教室番号	席数
第1分科会	沖縄と全国の米軍基地問題 小泉親司 安保放棄中央実行委員会常任幹事	10号館	5階	1051	60
第2分科会	日本高齢者人権宣言をどう活かしていくか 寺崎由郎 日本高齢期運動連絡会/梶原 渉 (国連作業部会代表派遣)	5号館	3階	532	52
第3分科会	日本高齢者人権宣言から年金問題を考える 鈴木 静 愛媛大学教授		5階	552	91
第4分科会	社会保障への攻撃に多世代と連携しどう立ち向かうか 岡崎 祐司 佛教大学教授	10号館	2階	1021	210
第5分科会	必要な介護サービスが使えるように 服部万里子 服部メディカル研究所 所長	5号館	3階	531	255
第6分科会	医療費、自己負担ゼロこそ求められる 長友 薫輝 佛教大学准教授/折田真知子日の出町前町会議員 神奈川県保険医協会	1号館	2階	大会議室	102
第7分科会	多世代が知り合ってつながり豊かな地域づくり 室田信一 東京都立大学准教授			1031	108
第8分科会	認知症になっても安心して暮らせる社会(地域)をつくるために 山田 智 東京・健友会(中野共立病院)医師・名誉理事長	10号館	3階	1032	108
第9分科会	高齢者の足・交通の問題と移動の権利 可児紀夫 愛知大学地域政策学部地域政策学センター研究員	5号館	5階	553	63
第10分科会	住まいは「人権」…住宅政策を見直す 佐藤和宏 高崎経済大学准教授	10号館	4階	1043	60
第11分科会	自分史を「短歌」に、「短歌」を希望のエネルギーに! 津田道明 新日本歌人協会副代表	5号館	5階	551	60
第12分科会	高齢期に地域で人間らしく生きる運動を 小嶋満彦 東京高齢期運動連絡会副会長		2階	1022	60
第13分科会	歯科講座 口福は幸福のへ道しるべ 森元主税 歯科医師・全国保険医団体連合会副会長	10号館	3階	1033	84
第14分科会	加齢性難聴と補聴器の助成はなぜ必要か 杉原 恵子 言語聴覚士		5階	1053	60

## ◇分科会のねらい◇

### 第1分科会 沖縄と全国の米軍基地問題

日本の戦争と平和の問題を考えると最大の問題は沖縄の基地問題。沖縄が再び戦場になる。基地周辺の土壌汚染も大問題。岸田政権が決定・発表した「安保3文書」と米軍基地増強について報告・議論する。

### 第2分科会 日本高齢者人権宣言をどう活かすか

日本高齢者人権宣言を決定して1年を迎えます。コロナ禍の中で、高齢者のいのちとくらしは絶えず脅かされてきました。そして相次ぐ人権侵害の悪法、ジャニーズ問題、まさに日本は人権後進国です。日本高齢者人権宣言は高齢期運動の旗印、この旗をどう生かすのか、全国の活動を交流し今後を切り開く。

### 第3分科会 日本高齢者人権宣言から年金問題を考える

日本における高齢者の貧困は深刻です。低年金、とりわけ単身女性の貧困は深刻、国連人権機関も指摘する人権問題です。分科会で高齢者の人権を確立しようとする国連を中心とする国際的な動向、そして日本高齢者人権宣言の意義を学び、「宣言」から年金問題を考え、あるべき年金制度を実現していくための今後の運動について意見と活動を交流します。

### 第4分科会 社会保障への攻撃に多世代と連携しよう立ち向かうか

社会保障の理念の変質と制度改悪が全領域ですすめられている。新自由主義政策による公的責任の縮小、解体、社会保障の市場化、そして世代間対立を煽り社会保障の削減を競わせている。社会保障の危機的状況に対して、社会保障の正当性と権利性を学び、どのような運動を構築していくのか、展望を見出す。

### 第5分科会 必要な介護サービスが使えるように

介護保険はどんどん入り口を狭められ、使えなくなっている。仕組みを変えなければならない。運動の展望をどうすれば切り開けるか。

### 第6分科会 医療費、自己負担ゼロこそ求められる

今年は老人医療費無料化を東京で実施してから50年、有料化されてから40年。75歳以上の自己負担は昨年から2倍化された。先進国では社会保障は充実の努力が続けられているが、日本は制度の改悪、サービスの削減、そして国民負担の増加が続けられている。「老人医療はなぜ有料化されたか、いま保険料引き下げや窓口負担はなぜ無料化されるべきか？」を聞き、老人医療費無料制度を続ける東京・日の出町の現状と課題を聞く。医療費自己負担ゼロにとりくむ神奈川県社保協の活動を聞き、意見交換する。

### 第7分科会 住民主体のまちづくり「いつまでも住み続けたいまち」

#### (1) 多世代が知り合ってつながり豊かな地域づくり

厚生労働省は2017年に保健・医療・福祉分野で地域共生社会の提示をしました。私たちが人間らしく暮らすには地域共生をどうとらえ、多様な人材が集まる地域となるためのコミュニティとは・・・をまちづくりの視点から学び交流する。全国に活動を広げるために何をするのか意見交換する。

### 第8分科会 住民主体のまちづくり「いつまでも住み続けたいまち」

#### (2) 認知症になっても安心して暮らせる社会（地域）をつくるために

本分科会では認知症基本法のポイントを学びます。基本理念に関連して認知症ご本人・家族の思い、行政のとりのみなどから学び、意見交換します。また、「安心して暮らせる社会（地域）づくり」に関して大学生の方々の取り組みの報告を受けます。

### 第9分科会 地域の足をどう確保するか

路線廃止等により移動の困難、高齢者の車事故などの状況がなぜ起きているのか。移動の権利はどう保障され、奪われているか。2013年の「交通政策基本法」の内容を含め、地域の交通の現状と今後の方向性について意見交換を行う。

### 第10分科会 住まいは「人権」…住宅政策を見直す

住宅の所有・利用形態、持家か借家か、さまざまです。住まいの問題を議論する場合はその実態把握から始めることが重要です。日本の住宅政策の特徴は、持家を持たせることを中心にしつつ、低所得者・困窮層に対しては、(少ない)公営住宅と、借家人保護の性質の強い借家法によって、対策をしてきた。高齢世帯にも当然それが反映されています。住まいは人権の観点から求められる住宅政策の拡大を検討します。

### 第11分科会 短歌の力で、世の中を変えよう！

この分科会では全国各地の高齢者の文化活動の取り組みを交流します。そして短歌講座「短歌の歴史と歌づくりの基本を学ぶ」のあと、参加者で短歌を実際に作ってみます。「短歌」初心者も安心して参加し、楽しく交流できます。この機会にあなたも”歌人”に。

### 第12分科会 高齢期に地域で人間らしく生きる運動を

高齢期を人間らしく生きるために、どのような高齢期運動をすすめるのかに焦点をあてて討論する分科会です。日本の高齢者人口は3,600万人、10人のうち3人は高齢者です。世界で最

も高齢化が進んでいます。この高齢者は、1日24時間の大半を地域で過ごしています。地域は高齢者の拠り所です。この、地域で暮らしている高齢者が人間らしく、豊かに暮らすために、私たちはどんな運動をする事が必要なのかを話し合います。

### 第13分科会 歯科講座 口福は幸福への道しるべ

「よりよく食べることはよりよく生きること」。お口のことで気になることはありませんか？ 気になることが1つでもあれば、お口の機能が低下してきているかもしれません。この状態をオーラル・フレイルといいます。全身の健康はお口から。元気な高齢期を過ごすためのトレーニングも学びましょう。

### 第14分科会 加齢性難聴と補聴器の助成はなぜ必要か

加齢性難聴による機能の低下は、日常生活が不便になり、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす要因となり、うつや認知症の危険因子となっています。加齢性難聴者にとって補聴器は、高齢になっても生活の質を落とさずに心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるため、難聴者への聞こえの支援は重要な課題です

## 第36回大会第12分科会への参加のお願い

2023年9月22日

東京高齢期運動連絡会 小嶋満彦

第36回日本高齢者大会 in 東京は、サブスローガン「ストップ軍拡 かがやけ人権」を掲げて開催されます。ウクライナ侵略戦争を好機とばかりに、岸田政権が大軍拡に乗り出しています。戦争が最悪の人権侵害であるとともに、いのちと暮らしを破壊する道であることも明らかです。昨年11月に開催された第35回日本高齢者大会 in 京都は、この岸田政権の「軍拡路線」を糾弾するとともに、11月19日に日本高齢期運動連絡会が臨時総会で決定した「日本高齢者人権宣言」を、11月24日の第35回日本高齢者大会全体会で採択しました。

今年の第36回大会は、この「日本高齢者人権宣言」を生かす運動を始める大会でもあります。

そのために、高齢期運動の前進にとって重要な2つの分科会を設けています。

1つは、第2分科会「日本高齢者人権宣言をどう生かすか」という分科会です。

2つ目には、第12分科会の「高齢期に地域で人間らしく生きる運動を」の分科会です。この第12分科会は、高齢期を人間らしく生きるために、どのような高齢期運動をすすめるのかに焦点をあてて討論する分科会です。

この高齢期運動のあり方を討論する分科会は、過去にもありました。私はこの分科会にほとんど参加して来ましたが、県連の幹部の方の参加は少なかったというのが私の記憶です。私は、今回のこの企画を有効に生かして、先ず、運動の中心にいる、各県連の幹部の皆さんが、自らの経験も出し合いながら意見交換する場にしたいと考えています。

私は、これが、「日本高齢者人権宣言」を活かす第1歩になると思っています。

高齢期運動は、地域での運動が「いのち」です。地域での運動が無ければ高齢期運動は消滅します。各県連の幹部みなさんの参加をお願いします

\* \* 夜の交流会 大正大学 17時～19時 \* \*

5号館	552 (91席)	91	みんなで聞こう 「人権を守るたたかいが社会保障を前進させた」 篠崎 次男 日本高齢期運動連絡会顧問
5号館	551	143 ***	高齢者大会 井戸端会議 久々の井戸端会議開催！ 日頃の思いを大いに語り、全国あちこちのみんなの元気を分かち合おう 森 芙紗子 横井 妙子
10号館	学生食堂 (240席)	240	うたごえ広場 東京の夜空にうたごえ 参加費 1000円 全員に飲み物・おつまみを配ります

### みんなで聞こう 「人権を守るたたかいが社会保障を前進させた」

社会保障は、国民の闘いによってつくりだされ充実させていくものだと思っています。この講座では、戦後から今日までのたたかいの歴史を日本高齢期運動連絡会顧問の篠崎次男さんから教訓と今後についてお話を聞きます。

### みんなで語り合おう 今風井戸端会議

「皆の者 銃を握るな 手を握れ」これは東京新聞に投稿した15歳の中学生の平和の句です。胸に響きます。今大会のサブタイトルは「ストップ軍拡 かがやけ人権」です。今日の交流集会の感想や聞きたかった事、言いたい事、悩み事、嬉しい事など、思いっきり声に出して言葉にして、共感しあって楽しくおしゃべりしましょう。皆さんのお国言葉も交えて、元気で楽しい時間と場を作りましょう。



### うたごえ広場

みんなでつどい、うたいましょう。

## 移動分科会の申し込み受付期間は10月1日～10日です

定員数を上回る応募がある場合は抽選になります。申し込みは各県連を通じてください。抽選は13日に行う予定です。なお、最低催行人数に達しないで中止する場合があります。参加者が確定しましたら、各参加者に詳細なご案内を差し上げます。

### 移動分科会申込用紙に誤りがありました。

移動分科会参加申込書の①東京大空襲・戦災資料センター③靖国神社・遊就館のバスの出発時間が13時となっていました。正しくは大正大学を13時30分に出発します。お詫びして訂正します。

## ◆ ◇ 移動分科会 ◇ ◆

### (1) 東京大空襲・戦災資料センター 定員50人

行程 大正大学 3号館本部前13時10分  
集合 バス出発13時30分 ⇒ 東京大空襲・戦災資料センター

空襲体験者のお話・センター内見学 ⇒ バスで大正大学へ(解散)16時30分予定

特別参加費：1,000円・入館料：300円



アジア太平洋戦争の末期、1945年3月10日、アメリカ軍の無差別爆撃によって東京の下町一帯は焼け野原になり、約10万人もの人びとが命を奪われました。東京大空襲・戦災資料センターは東京大空襲をはじめとする空襲や戦争による一般民間人の被害の実相を明らかにし、それを伝えています。当日は、東京大空襲体験者からお話を聞きセンターを見学します。

## (2) 北区戦跡ウォーキング

行程 現地集合 13時10分 北とぴあ前 JR王子駅 徒歩 1～2分  
東京駅 ⇒ JR京浜東北線(20分) ⇒ 王子駅  
☑ウォーキングです。歩きやすい服装・靴で参加してください

☑王子駅には大きな荷物用のロッカーはありません  
出発時間13時30分 解散予定時間16時30分  
かつて、北区域には多くの軍事施設がありました。その面積を合計すると区の面積の約10%にもあたり、この割合は東京都23区で最も高いものとなっています。旧陸軍にゆかりのある戦跡をめぐりながらのウォーキングです。地元のガイドが案内します。



## (3) 靖国神社・遊就館

行程 大正大学 3号館本部前 13時10分集合 バス出発13時30分 ⇒ 靖国神社・遊就館 ⇒ バスで大正大学へ(解散) 16時30分予定  
特別参加費: 1,000円 入館料 800円

ガイドの自己紹介 辻子実 (『靖国の闇によろこ』著者)  
東海林次男 (東京都歴史教育者協議会副会長)

バスのなかで専門家より全般的な説明を聞きます。

靖国神社境内と遊就館を見学します  
遊就館見学は2000年7月1日より、外部ガイドによる説明見学が禁止に。その理由は、?  
別資料「館内見学しおり」を御覧になりながら、各自での見学をお願いします。



## (4) 東京の山宣の足跡をたどる

行程 現地集合 13時30分 東京山宣会事務所 千代田区労連事務所内 (最寄りの駅はJR水道橋駅 西口徒歩2分)  
住所: 千代田区神田三崎町 2-19-8 杉山ビル2階  
東京駅 ⇒ JR中央線(2駅) ⇒ お茶の水駅 ⇒ JR総武線 ⇒ 水道橋駅  
資料代: 500円

フィールドワークコース  
千代田区労協(事前学習) ⇒ 西神田小学校(跡地、現在児童館) ⇒ 正則英語学校(現在の正則学園高校)・「錦3」電停跡・(赤旗事件の錦輝館跡) ⇒ 光栄館跡地 ⇒ 懇談



